



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

NPO(特定非営利活動)法人 日本防火技術者協会 2003 年度総会概要報告

日時 2004 年 1 月 28 日(水)

14 時~14 時 30 分

場所 東京大学 14 号館 422 号教室

議事内容

1) 理事長挨拶

理事長欠席のため富松副理事長が理事長に代わり挨拶と会の紹介を行った。

2) 定款内規(案)について

3) 平成 16 年度の活動計画

4) 平成 15 年度決算書

5) 平成 16 年度書予算書について

6) その他

・会の運営について承認された。



総会の開催状況写真

主な活動は、資格WG、事業企画WG、教育WGが計画されている。

現在の会員数は、個人会員 72 名、賛助会員 3 法人、学生会員 1 名です。

講演会の概要報告

講演者 ソウル市立大 Yong 教授

日時 総会と同日

15 時~17 時

場所 総会と同一会場

・韓国・ソウル市立大学・都市防災安全研究所長のユン・ミョンオ教授の講演会が東京大学で開催された。

講演テーマは、韓国における消防防災行政と制度の現状、韓国の防火技術者の職能と資格制度について講演された。参加者は、NPO 法人日本防火技術者協会会員他、建築学会関係者などが参集し、会場は満席の盛況であった。

なお、この講演会は東大「消防防災寄付講座」主催の公開セミナーとして実施されました。

清水建設技術研究所新棟

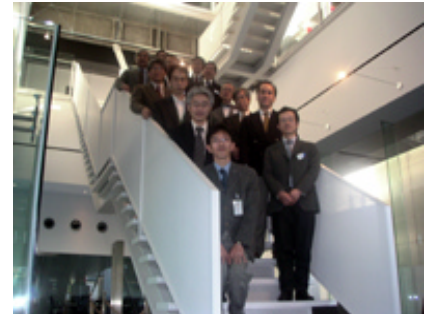
見学会の概要報告

2 月 23 日(月) 清水建設技術研究所新棟の見学会が開催された。この建築物は、日本火災学会の火災誌などで紹介されていますが、各所に防火技術上または環境上、斬新な試みがされています。清水建設技術研究所の矢代副所長(当協会理事)の他、当会会員広田氏による全体説明の後、館内の見学を行った。当日の参加者は、14 名であった。

建築の性能評価、消防防災システム評価などを取得した最新の技術を見学した。見学後、深川にて懇親会をおこない、意見交換を行った。

以下にシステムの例を示す。

- (1) . 煙と熱を用いた火災感知・覚知システム、並びに非常放送の自動連動システム、
- (2) . ドレンチャーによる防火区画
- (3) . 建物全体の火災時の構造解析による耐火設計、柱頭免震・ケージ状構造による大空間の確保
- (4) . 各種の省エネルギー設備、人工庭園など



見学会参加者の写真

各WGの動き

防火職能技術検討WG

・防火職能技術検討WG(日本建築学会防火委員会防火職能技術検討WG)が建築会館等で開催されました。

10 月 31 日 金 第 1 回WG

12 月 19 日 金 第 2 回WG

2 月 20 日(金) 第 3 回WG

3 月 31 日(水) 第 4 回WG

5 月 31 日 月 第 5 回WG

会員アンケート実施予定

事業WGの動き

事業WGでは、NPO 法人としての一般市民を含めた活動として、地下鉄探検隊を計画しています。活動について御意見がある方は、事務局までお知らせ下さい。



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

SFPE 教育WG

第1回会合が5月20日(木)に開催され、今後の進め方等を検討した。

性能設計ケーススタディ

建築学会防火委員会火災安全設計小委員会と協同して10月でルクセンブルグで発表する、「鉄道ターミナルの性能設計」のケーススタディを行っています

《関連学会等の情報》

第34回安全工学シンポジウム 開催案内

- 社会の安全の落とし穴を探る -
安全工学シンポジウムが開催されます。
当防火協会からは、依頼により佐藤理事長が講演されます。

主催：日本学術会議

共催：安全工学協会、他

(幹事学会)日本機械学会

協賛：応用物理学会、他

開催日：7月1日(木)・2日 金

会場：日本学術会議 講堂、他

港区六本木7-22-34

地下鉄千代田線「乃木坂」

駅下車徒歩1分

オーガナイズドセッションC

「リスクコミュニケーションはどこまで進んでいるか?」(第2室：2階大会議室) 第1日 14:20~16:20

(オーガナイザ・座長 野口和彦(三菱総合研究所))

C-1 現状のリスクコミュニケーションの課題 三瓶正三(日本テレビ放送網)

C-2 建築設計に見る設計者とユーザーとのリスクコミュニケーション
佐藤博臣(イー・アール・エス)

C-3 企業の立場からみたリスクコミュニケーションの現状 小山富士雄(ダイヤリサーチマーテック)

C-4 生命倫理における望ましいリスクコミュニケーションの制度

牧山康志(文部科学省)

C-5 総括 野口和彦(座長)

参加費：入場無料

講演予稿集 ¥5,000

(学生 ¥2,000)

詳細は、<http://www.jsme.or.jp/0407010c>。

「性能規定化」連続シンポジウム

同シンポジウムが、建築学会会議室にて建築学会の建築法制委員会、建築法制度研究小委員会が主催で開催された。

第1回 2月27日(金)

第2回 5月14日(金)

21世紀COEプログラム

「先導的建築火災安全工学

研究の推進拠点」の動き

東京理科大学では、21世紀COEプログラム「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」の一環で第1回シンポジウム「21世紀の火災科学は何を目指すのか?」が3月9日赤坂プリンスホテルにて開催された。本協会関係者として、関沢、矢代、原田各理事の他、長谷見教授、田中教授が講演された。



SFPE・J ニュース

(SFPE 日本支部

の活動 第9号)

SFPE 日本支部

2003年度総会概要報告

日時 2004年1月28日(水)

13時30分~14時

場所 東京大学14号館422号教室

・副支部長挨拶

・2003年度の活動報告

・2003年度決算報告

・会員の状況報告

SFPE 本部移転のお知らせ

SFPEの本部が2月15日に移転しました。

新住所は、以下の通りです。

7315 Wisconsin Avenue, Suite
620E, Bethesda, MD 20814.

電話及びFaxは従来どおりです。

Tel: 301-718-2910 Fax:

301-718-2242 www.sfpe.org

第5回性能基準と火災安全設計法

に関する国際会議

以前にお知らせしました通り、SFPE本部が主催する表記の会議開催が迫って参りました。8/20までに登録すると参加費の割引が受けられます。詳細は本部ホームページ www.sfpe.org をご覧ください。

開催日時：10/6~8

場所：ルクセンブルグ(EU会議場)

太平洋地区SFPE支部交流会

3月に韓国テグで開催されたアジア・オセアニア火災科学技術シンポジウムを機会として、韓国支部設立準備会の発案で、本部からWoycheese氏を招き、日本支部、香港支部関係者が交流を行いました。

香港支部からはチョウ・ワンキ教授(支部長)を始めとする3名、韓国支部からは準備会リーダーのブライアン・アン氏を始めとする5名が参加しました。日本支部からは、会員・会友の8名が参加しました。

香港支部は香港工科大学の一室に入居して運営されています。韓国支部は3月の段階では未承認でしたが、現在では本部に定款が承認され、近々活動を開始する計画です。いずれの支部も日本支部との交流に大きな期待を持っていることが分かり、今後



の太平洋地区支部の交流強化にも取り組むことができそうです。

Journal of F P E 紹介

(1) Vol.13 No.3, 2003

- Implementing a Glass Fracture Module in the BRANZFIRE Zone Model, (ブランツファイア-モデルへのガラス破壊モデルの追加), R. Parry, C.A. Wade and M. Spearpoint
- Fire Protection in Agri-cultural Facilities: A Review of Research, Resources and Practice, (農業施設における防火対策: 研究および実務の現状レビュー), D. A. Torvi.

(2) Vol.13 No.4, 2003

- The Influence of Creep on the Failure of Wood-framed Walls in Fire, (火災時の木製枠組み壁崩壊に対するクリープの影響), P. Clancy and F. Jong.
- Stairwell Flow Pressurization - A New Method, (階段の給気加圧 - 新手法), L. Jensen.

(3) Vol.14 No.1, 2004

- SFPE Classic Paper Review: Fire Behavior In Rooms by Kunio Kawagoe.(SFPE 古典的論文レビュー: 川越邦夫: 区画火災性状), P. Thomas.
- An Evaluation of the Global Equivalence Ratio Concept for Compartment Fires: Data Analysis Methods, (平均等量比概念の検討: データ解析法),

C. J. Wiecek, U.

Vandsburger and J. Floyd.

- The Effect of Pre-evacuation Distribution on Evacuation Times in the Simulex Model, (Simulex モデルにおける避難開始時間分布の避難完了時間への影響分析), M.Spearpoint.
- Application of Supersoft Decision Theory in Fire Risk Assessment (火災リスク評価におけるスーパーソフト意志決定理論の適用), H. Johansson and P. -E. Malmnas.

(4) Vol.14 No.2, 2004

- SFPE Classic Paper Review: Fire-Induced Flow Through an Opening by Joseph Prahll and Howard W. Emmons. (SFPE 古典論文レビュー: Prahll と Emmons による火災時の開口流) C.L.Beyler.
- Fire Performance Evaluation of a K-16.8 Suppression-mode Upright Sprinkler (K-16.8 抑制モードにおける上向きスプリンクラーの火災性能評価), H. -Z. Yu, D. B. Pounder and M. Fischer.
- Arc Beads from Fires: Can 'Cause' Beads Be Distinguished from 'Victim' Beads by Physical or Chemical Testing? (火災で生じた電撃痕: 出火原因となった電撃痕は他の原因で生じた電撃痕と区別できるか?) V. Babrauskas.
- Decision-making for Fire Risk Problems: A Review of Challenges

and Tools (火災リスク問題に対する意志決定: 既往の試みとツールのレビュー), B. J. Meacham.

Fire Protection Engineering

(SFPE 機関誌 紹介)

(1) Summer 2003

- A Roundtable Discussion Regarding the International Practice of Fire Protection Engineering (防火技術の国際的な業務に関する円卓会議), William E. Koffel, .
- Fire Protection Engineering Opportunities in Developing Countries (発展途上国における防火技術適用の機会), Jeani Michel Attan..
- The Development of CESARE Risk (CESARE リスクの開発), Ian R. Thomas.
- The Potential Impact of Building Product Models on Fire Protection Engineering (防火技術に対する建材モデルの潜在的な衝撃), Michael Spearpoint.
- Messaging and Communication Strategies for Fire Alarm Systems (火災警報設備の情報通信戦略), The National Electrical Manufacturing Association.

(2) Winter 2004

- Book Review - Ignition Handbook Vytenis Babrauskas. (書籍紹介: 着火性ハンドブック、ウイテニス・バブラスカス著)



- Fire Investigation and The Fire Engineer (火災調査と防火技術者), Robert A. Schroeder.
- NFPA 921's Impact on Fire Scene Reconstruction (火災現場の再建における NFPA 921 の影響), David J. Icove and John D. Dehaan.
- From the Lawyer's Perspective : The Role of a Fire Protection Engineer in the Investigation of Fire Related Losses and Subsequent Litigation (法律家の観点から：火災関連損害とその法定闘争の調査における防火技術者の役割), Paul R. Bartolacci and Georgia S. Foerstner.
- Failure of a Sprinkler System : A Case Study (スプリンクラー設備の欠陥：とある事例研究), Daniel Arnold.
- Fire Alarm Testing Strategies Can Increase Occupant Response and Reduce the "Cry Wolf" Syndrome (火災警報試験戦略は居住者の対応行動を促進し、“狼少年” シンドロームの削減をさせることができる), Daniel Arnold.
- Opportunities to Learn from 9/11 (9.11 から学ぶ機会), James G. Quintiere. Morgan J. Hurley, P.E.

(3) Spring 2004

- Life Safety in Large Assembly Occupancies (大規模集合住宅における人命安全), Jake Pauls.
- Assembly Property Fire (集会施設の火災), John R. Hall Jr.
- Fire Alarm Systems Serving Assembly Occupancies : Looking

- Beyond Specifications (集会施設のための火災警報設備：仕様を超えて), Jorge Velasco & Edward L. Fixen.
- Fires in Clean Rooms : Considerations About the Effects of Downward Air Flow on Ceiling Jet Flow and FDS Application for Temperature Prediction (クリーンルーム内の火災：天井ジェット流に対する下降気流の影響の考察と温度予測のための FDS 利用), Massimo Manganaro.
- Plastic Pipe and Fire Safety (プラスチックパイプと火災安全), Joseph B. Zicherman.
- Combining Emergency Voice and Non-emergency Paging Systems (非常放送と日常放送のページングシステム), National Electrical Manufacturing Association.

SFPE TODAY

MARCH-APRIL 2004

- SFPE 支部朝食会：ユタ州ソルトレークシティにて「鉄道駅火災の N I S T による調査報告」
- SFPE 年次総会：9 月 20～24 日、シカゴにて開催

新入会員

新たに入会された方々を記載しました。(五十音順、敬称略)
〔会員〕池畠由華、河崎和夫、川端信義、鈴木弘昭、杜(と)彬、名取晶子、野竹宏彰、山縣哲弥、長谷川功、長谷川晃一、渡辺良夫〔11 名〕

〔学生会員〕菊本智樹〔1 名〕
〔賛助会員〕有限会社フルイドテクノロジー (代表：桐丘節男)〔1 名〕

理事会等の開催結果

1 月 26 日(月) 総会準備会
2 月 23 日(月) 総会結果確認
東京都への報告検討
3 月 16 日 平成 15 年度の N P O 法人の報告を東京都・生活文化局に提出・受理された。
3 月 31 日(水)

振替口座のご案内

特定非営利活動法人日本防火技術者協会の郵便貯金口座と振替口座を新宿郵便局に開設しました。

振替口座は、口座名：特定非営利活動法人日本防火技術者協会

口座番号：00160-4-759167
です。会費等の納入の指定口座ですのでご利用下さい。

ホームページ開設準備中

・当協会のホームページ名を“ J F P E ”を使用することで調整中です。

ロゴマーク募集中

・当協会のロゴマークを募集中です。
・富松理事考案のマークを掲載中です。

編集委員会からのお知らせ

会員各位のご意見・ご提案・投稿を常時募集しております。

御意見御要望は、

Hhotta1@aol.comまで